

授業科目：摂食機能療法学

学修目標

少子高齢化のわが国において、疾患の重症化、複雑化、および障害の慢性化、長期化が加速し、医科、歯科、介護、福祉、保健のあらゆる領域において、摂食機能障害が注目を浴びるようになった。当講座では、摂食機能療法の理念、診断、技術について臨床的視点にたった考察の習得を目的としている。

■教科書：脳卒中患者の口腔ケア，植田耕一郎著，医歯薬出版

■参考書：摂食嚥下リハビリテーション第3版，才藤栄一，植田耕一郎監修，医歯薬出版

■オフィスアワー：植田耕一郎 木曜日 12:00-13:00

阿部 仁子 木曜日 12:00-13:00

中山 渙利 木曜日 12:00-13:00

佐藤 光保 木曜日 12:00-13:00

■成績評価：1. 課題発表 2. 課題レポート 3. 口頭試問

■注意事項：授業には、教科書、参考書、配布資料などを持参し、出席する。

■準備学習：前もって、該当項目を教科書や参考書で読んでおく。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第1回10月3日(木) 植田耕一郎	1. 障害をもった口腔とは	障害者の口腔病態（摂食機能障害の病態を中心）について
第2回10月10日(木) 植田耕一郎	2. 摂食機能療法のための脳卒中の理解	・運動障害 ・感覚障害 ・高次機能障害
第3回10月17日(木) 阿部 仁子	3. 摂食機能障害の診断法について	・視診，触診，聴診等の臨床診断について学ぶ。
第4回10月24日(木) 阿部 仁子	4. VF撮影法の実際	・嚥下造影検査の手法と読像を学ぶ。
第5回10月31日(木) 阿部 仁子	5. 摂食嚥下の生理	・摂食嚥下の生理学的，解剖学的メカニズムを学ぶ。
第6回11月7日(木) 阿部 仁子	6. 摂食嚥下の臨床的病態	・摂食，嚥下障害が起きるメカニズム ・誤嚥性肺炎発症のメカニズムについて学ぶ。
第7回11月14日(木) 阿部 仁子	7. VE撮影法の実際	・嚥下内視鏡の手法と読映について学ぶ。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第8回11月21日(木) 中山 潤利	8. 摂食機能障害に対する治療的アプローチ(1)	・間接訓練(食べ物を使用しない基礎的訓練)について学ぶ。
第9回11月28日(木) 中山 潤利	9. 摂食機能障害に対する治療的アプローチ(2)	・直接訓練(食べ物を使用する訓練)について学ぶ。
第10回12月5日(木) 中山 潤利	10. 摂食機能障害に対する代償的アプローチ	・利き手交換, 経管栄養, 中心静脈栄養等の代償方法について学ぶ。
第11回12月12日(木) 佐藤 光保	11. 摂食機能障害に対する環境改善的アプローチ	・環境改善による自立支援による考え方, 手法を学ぶ。
第12回12月19日(木) 佐藤 光保	12. 摂食機能障害に対する心理的アプローチ	・心理的支援に関する考え方, 医療従事者の取り組むべき姿勢について学ぶ。
第13回12月26日(木) 阿部 仁子	13. 摂食機能障害に対する検査法	・咀嚼と嚥下に関する各種筋の筋電図活動記録方法 ・口腔粘膜刺激による体性感覚誘発電位法・味覚検査法, 唾液量検査法, 触覚検査法について学ぶ。
第14回1月9日(木) 佐藤 光保	14. 21世紀の歯科医療の在り方を考える	・日常生活動作の中の在宅口腔ケア ・医療, 介護, 福祉, 保健における歯科医療の責務 ・チーム医療について考察する。
第15回1月16日(木) 植田耕一郎	15. 摂食機能学を学んで考えること	・今まで学んだ知識を整理する。